

さまざまな想い
ひとりで抱えていませんか
まずは・・・しん・呼吸してみませんか

深・呼吸

心・呼吸

Take a breath.

新・呼吸

大切な人を亡くされた経験を語りあう会 まちのグリーフカフェ「しん・呼吸」

グリーフ (grief) とは「喪失によって生じる深い悲しみや苦悩」を意味します。

人との死別はとても辛いことです。

時に、心や身体にもさまざまな反応があらわれることもあります。

そのような時、同じような経験をされた人との語りあいや共に過ごす時間は、

自分のグリーフと向き合うきっかけになるかもしれません。

まちのグリーフカフェ「しん・呼吸」では、安心して集い語りあえる場を、

市民サポーター(ボランティアスタッフ)と看護職がサポートいたします。

開催日

【勝どきダイルーム】開場 9:50～

(中央区勝どき1-5-1 勝どき区民館1F)

- ・ 10月 14日 (土) 10:00～12:00
- ・ 12月 9日 (土) 10:00～12:00
- ・ 2月 10日 (土) 10:00～12:00

【はまる一む】開場 13:50～

(中央区日本橋浜町3-40-3 1F)

- ・ 11月10日 (金) 14:00～16:00
- ・ 1月 5日 (金) 14:00～16:00

【聖路加国際大学】開場 13:50～

(中央区明石町10-1)

- ・ 3月 1日 (金) 14:00～16:00

※3月以降も毎月開催いたします。

概要

【内 容】グループでの語りあい
セルフケアにつながる簡単なワーク

【定 員】10名程度 ※先着順

【参加費】500円 (2024年1月～)

【対 象】病気で身近な人を亡くした方で、
語りあう会に参加を希望する方

【お問合せ・ご予約】下記のいずれかでお申込みください。

- ①専用フォームの場合：右のQRコードよりお申込みください。
- ②Faxまたは郵送の場合：裏面の用紙に記入の上お申込みください。
- ③Emailの場合：takamoto.m@selfcare-network.com

・ 氏名 ・メールアドレス ・電話(連絡の取れる番号) ・お住まいの市区町村
・ 年代(例. 50代) ・参加希望日 ・参加動機 をお知らせください。

※一週間を過ぎてはこちらから連絡がない場合は、お手数ですが再度お知らせください。

* 氏名、連絡先等の個人情報は、語りあう会の開催にのみ使用し、終了後消去いたします。

* 本会は、布教、販売、政治活動を目的とするものではありません。

①専用フォーム
QRコード



まちのグリーンカフェ「しん・呼吸」参加申込書

202 年 月 日

氏名（フリガナ）	
メールアドレス	@
電話 （連絡の取れる番号）	
お住まいの市区町村	
年 代	<input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80代～
希望参加日	<input type="checkbox"/> 10月14日（土）10：00～12：00 勝どきダイルーム <input type="checkbox"/> 11月10日（金）14：00～16：00 はまる一む <input type="checkbox"/> 12月9日（土）10：00～12：00 勝どきダイルーム <input type="checkbox"/> 2024.1月5日（金）14：00～16：00 はまる一む <input type="checkbox"/> 2024.2月10日（土）10：00～12：00 勝どきダイルーム <input type="checkbox"/> 2024.3月1日（金）14：00～16：00 聖路加国際大学
参加動機を差支えない程度にご記入ください。その他、お問合せ等がありましたら併せてご記入ください。	

* 上記に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申込みください。

郵送：〒104-0061 中央区銀座6-6-1銀座風月堂ビル5F

一般社団法人セルフケア・ネットワーク 高本(タカモト)

電話：03-6228-3197（10：00～16：00迄）

- ◆まちのグリーンカフェ「しん・呼吸」は、聖路加国際大学PCC開発・地域連携事業として開催しています。

聖路加国際大学 PCC 開発・地域連携室

People-Centered Care(PCC)とは、市民が主体となり、保健医療従事者とパートナーシップをとりながら、自身の健康問題の改善に向けて取り組むことです。

PCC 開発・地域連携室では、社会の動向や健康問題をグローバルに捉え、科学的根拠を集積し、地域と連携しながら、看護実践を開発・研究することを目的に活動しています。

本事業は、PCC 開発・地域連携室の一環として運営し、事業で収集した情報は、個人が特定されない形で、教育・研究に用いることがあります。

